

911.3
力

浣
華
溪



古人有言曰人生莫如閑大閑及生惡業
 人生莫如清大清及類俗情此の正氣味い
 何事哉家には有菴武日外より人何事
 山水有り以極しき清宗師たのむ
 此も亦い河名之常に應じて浣む浣め
 不き異き村にひとつれ菴をむす
 敢て大徳の徳徳か教むすを拒め
 物より業の香の却る空をよみ似るを

かゝるものありは従密として信守を遊ば
それ人を教ふいふものなす武日年あるは
再は物なきる發する事あるをいふは名
尊く妙の名の教をいひて一とらば書と
れ一と事なきる序なきる向古友人世路
長吹まらるる事と流し無漢とことあり
やと事や又いふものの中は書くは
かゝるものありは従密として信守を遊ば

物乃名なきる事ありは中なるは
名なきる

文化庚午仲夏

陽子
書人

撰者武曰由女も此とおのと紫ぬるれち
あつまんと物たり名によこしひるらふうれ
されも世集やまき花川のちち報もも
もぬ國お法え入のよおまによみせ
らあつち嫁さけつてむふあふんそ
紙者と一にふ付侍る

吳音村紫路

芳と満婦くせはまりぬ飽屏正曰
梅手うらふ世へ入梅のみ梅紫路
海相のち子のぬまは夕月叔呂吹
ぬよとあふれ縁の邊う素牛
鶴野の管巻ぬかえのぬは丹古言
山よむのぬる子のまを花芝

羨の終事、院未をたふす、希江

渡のまゝに、雨のやぐさしく
曰

大、さあろくまぬ色を、作の甚大に
踏

橋の、海り、水、の、鍵、の、戸
吹

高、日、飾、の、流、ま、ま、お、の、舟
叶

弗、の、か、ら、の、の、の、手、の、舟、の、の、の、の、
言

醜、の、在、志、の、の、の、の、の、の、の、
芝

い、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、
江

の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、
日

江、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、
踏

初、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、
吹

也、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、
叶

昔も心も誰か任す言

くささ草の織あさる日也 芝

糸の糸を転のあさる日 江

うささ草の織あさる日 日

くささ草の織あさる日 路

輪の糸を転のあさる日 次

因る心も誰か任す言 叶

くささ草の織あさる日 言

くささ草の織あさる日 芝

結の糸を転のあさる日 江

糸の糸を転のあさる日 日

糸の糸を転のあさる日 路



ふくしまるふりかきり
吹

離のくしむ桂十うき
井

百り老る白よまゆり
言

さきよけくきくむる鶴の舟
江

喰む其の香くらくく
芝

水より三箇らゆり
葉

蓋の鼻月のる
菴

つかなの首蒲ら
庵

ひるきのほろこ
庵

ひるきのほろこ
庵

ひるきのほろこ
庵

清の井井ある
吹

一 宿 宿 宿 の かきま所のあり
吹

信ら州のつらものあり
吹

入るのちあゝいふ人いふ人
席杖

いふ人いふ人いふ人いふ人
白太

いふ人いふ人いふ人いふ人
共秋

いふ人いふ人いふ人いふ人
蒙丘

いふ人いふ人いふ人いふ人
左聖

いふ人いふ人いふ人いふ人
大聖

いふ人いふ人いふ人いふ人
可笛

いふ人いふ人いふ人いふ人
斗丈

今朝のまきら 山山 山坊

百人も物喰いたあともあつた月合字 眉山

悟るのよふにいふらあゝいふらあゝ 文名 中 澧水

あゝいふらあゝいふらあゝいふらあゝ 葛三

あゝいふらあゝいふらあゝいふらあゝ

あゝいふらあゝいふらあゝいふらあゝ 江戸 三三

あゝいふらあゝいふらあゝいふらあゝ お島 三三

あゝいふらあゝいふらあゝいふらあゝ お島 三三

あゝいふらあゝいふらあゝいふらあゝ 三三

石見のりも侍探ふありしころ 文吉

探ふとやふくおありしころ ね修 投や

ふ別とかるも探ふも日のあき 久次

肩ぬ子の心ぬともさめ梅の月 下子并 幸里

お探ふお探ふ父くきあつ月の秋 一左

お探ふお探ふと幾くともさめ梅の度 若原 左洲

日さしおとるおとるお探ふお探ふのさ 山丁

お探ふお探ふお探ふお探ふお探ふ

探ふ月くせふとと探ふとと探ふとと探ふ 十コヤ 土間

探ふ月くせふとと探ふとと探ふとと探ふ 兵衛

月おとと探ふお探ふの探ふ探ふ 揚舟

の月おとと探ふお探ふの探ふ探ふ 秀河

美なるの探ふ探ふの探ふ探ふの月 倉庫 土越

ねあふおととの探ふお探ふの月お探ふ 石 治女

探ふお探ふお探ふの探ふ探ふの探ふ 羽州 治美

西月お探ふお探ふの探ふ探ふの月 双河

お探ふお探ふお探ふお探ふお探ふの月 文久二

探ふの探ふ探ふの探ふ探ふの月 松吉

父老の信のち月もえられり
三木

若松のちちのちちのちちのちち
土

西条のちちのちちのちちのちち
木子

肆小のちちのちちのちちのちち
焦山

花のちちのちちのちちのちち
如毛

のちちのちちのちちのちちのちち
半石

花のちちのちちのちちのちちのちち
阿部

のちちのちちのちちのちちのちち
龜下

のちちのちちのちちのちちのちち
吐流

のちちのちちのちちのちちのちち
里

相のちちのちちのちちのちちのちち
黛山

のちちのちちのちちのちちのちち
玉村

のちちのちちのちちのちちのちち
文

のちちのちちのちちのちちのちち
のち

のちちのちちのちちのちちのちち
のち

のちちのちちのちちのちちのちち
のち

のちちのちちのちちのちちのちち
のち

のちちのちちのちちのちちのちち
のち

梅の枝のふさふさのふさふさ
ささるふさふさのふさふさ
今頃のふさふさのふさふさ
乙堂
何来
る巻

汁罍のふさふさのふさふさ
かゆふさふさのふさふさ
大馬
松原

梅笑ゆるふさふさ茶碗のふさふさ
つるも

ふさふさのふさふさのふさふさ
梅也

暢とふさふさのふさふさのふさふさ
松原

秋のふさふさのふさふさのふさふさ
すき

麻布やたふさふさのふさふさのふさふさ
たん巳

只ふさふさのふさふさのふさふさ
梅也

春のふさふさのふさふさのふさふさ
羽州
まつ

麻布やふさふさのふさふさのふさふさ
金川
蓮宮

あふさふさのふさふさのふさふさのふさふさ
羅文

籠子のふさふさのふさふさのふさふさ
全子
早布

壽のしるしをかきとせを巻紙の版 新得 嘉年

福越より一里御風の柳うか 近嶺

あふらぬかきせの日はの所をふか 一河

和井よりあかぬを袖む新海心 子蓮

和やあむむやの月のこき呼は結 素休

銅かきし御の志も自のあく を庫 相栖

怪啼のあまむき折御のあま 田井 平明

卯のこきせらふを御のこき 呂向 海方

うれしきを念御のよ 家子多 一成

我探の代隣 あふ 収のこき 江戸 完来

あふらぬかきせのむ あふ 茂后

あふのけ あふ 入左

隣 あふ 若丈

去の あふ 文海

あふらぬかきせのむ あふ 一

あふらぬかきせのむ あふ 一

あふらぬかきせのむ あふ 一

あふらぬかきせのむ あふ 一

あふらぬかきせのむ あふ 一

玉の雪のふりやまの雪のふりよわの雪 公泉

玉川と古々子もらうの雪のふり お平 三千竹

玉の雪のふれたもくもく 毛 菅菰

雪をふりし紙のふり 武 玉液

玉の雪のふり ヨウ 乙乙

玉川と古々子 牛摩

玉川と古々子 古吟

玉の雪のふり 在羽州 筑前田

玉の雪のふり 無玉

玉の雪のふり 平角

玉の雪のふり 大坂 寄瀬

玉の雪のふり 三州 阜地

玉の雪のふり 大坂 尺芥

玉の雪のふり 倉庫 一軒

玉川の雪舟

玉川の雪舟

武曰

ふまよふの留まぬお后の月 吐丈

とまらぬお子お母のまはれぬ月 一圭

ふたふたおまはれぬおのまはれぬ月 松宇

おのまはれぬおのまはれぬ月 石南

おのまはれぬおのまはれぬ月 北條

おのまはれぬおのまはれぬ月 菊池

おのまはれぬおのまはれぬ月 菊池

おのまはれぬおのまはれぬ月 大呂 公石

おのまはれぬおのまはれぬ月 系文貞

おのまはれぬおのまはれぬ月 糸白

おのまはれぬおのまはれぬ月 伯希

おのまはれぬおのまはれぬ月 石海 石海

おのまはれぬおのまはれぬ月 法雅

おのまはれぬおのまはれぬ月 法泉

おのまはれぬおのまはれぬ月

おのまはれぬおのまはれぬ月 河通 河通

おのまはれぬおのまはれぬ月 文素

おのまはれぬおのまはれぬ月 下毛 下毛

鳥巢のまのやりと所ひたれり物さ祖明

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

うそをそとくたも死る一玉まつた某英

死は氣を二層も海に、秋の風、葉也

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

はくさく一ハ母あつてむらさくら南部あわ

我をあり母まをせ一秋の山羽州一安女

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

一ハあつてこの習ひはむら田家 以水路

代かつた鳥も河津あり春のあめ 什次

志くはくやあゆれりたるまやこ上毛 藤原

山より枯尾とよとやあまのる羽州 氏時

鳥居より必もあつた深層の 松原

まののりけ言ふ母あつた秋の山 栄考

まのこれあつた影ありむらあつた 東河

籠おわや摺とまのり七位の時 大味

朝のけやあつた影あり梅のる 玉厚

まののりまのりあつた影あり 圃桂

松原ふこの水も流るるを
文山

海くもるこす相をかろく水くろく
横波

水仙や花は露にぬれぬ日未字のししく
あまらむ

もの言ふもさるるのあふくそのたを
廻雁

水のそよ流のせもろくろの月
玉耕

流思ふをいふしを来るもろ
渚柳

山吹や流鏡ハ荒るるの月
ふんや

くまのけのちとろくろ梅のまナツヤ
竹玉

春のあまのこもあまのこもあまのこも
あまのこ

あまのこもあまのこもあまのこも
桂臺

春もや月の夜もあまのこも
ふん英

春のあまのこもあまのこもあまのこも
志山

春のあまのこもあまのこもあまのこも
あまのこ羽州
あまのこ

春のあまのこもあまのこもあまのこも
若長

春のあまのこもあまのこもあまのこも

川かろくも梅のこもあまのこも
柳花

春のあまのこもあまのこもあまのこも
伯花

古のついで種彦の笑ふ花の松 可原

と柳子のる年いふの花の家 羽州 雲月

我を子にふけり 大坂 朱彦

朝とや花子らめき花の情 系 蒼虬

世の中必羽二重やうきうき 古言

秋とや来原ひくくのお目たり 柳古

山ふりの必をうたのそるん 蕭風

如月や仕立らけぬ花を 梨井

雛子啼や名をけを煙多の 遠月

梅の枝を花を枝をふり 白 檜堂

うきうき堂の色小 羽州 梅の夜 梅吏

とるも花もふり 羽州 希杖

此及刺のきれ 羽州 此丈

雪のさき 文思

梅実や 巳付

一	中
二	女
三	补
四	喘
五	月
六	二
七	每
八	九
九	年
十	元
十一	研
十二	屑
十三	引
十四	原
十五	车

Handwritten Chinese characters in cursive script, likely a list item.

志

Handwritten Chinese characters in cursive script, likely a list item.

丑物

Handwritten Chinese characters in cursive script, likely a list item.

月朗

Handwritten Chinese characters in cursive script, likely a list item.

之甫

Handwritten Chinese characters in cursive script, likely a list item.

草

Handwritten Chinese characters in cursive script, likely a list item.

老蟻

Handwritten Chinese characters in cursive script, likely a list item.

茶布

Handwritten Chinese characters in cursive script, likely a list item.

茶

Handwritten Chinese characters in cursive script, likely a list item.

林在

Handwritten Chinese characters in cursive script, likely a list item.

自朝

Handwritten Chinese characters in cursive script, likely a list item.

何九

Handwritten Chinese characters in cursive script, likely a list item.

茶

Handwritten Chinese characters in cursive script, likely a list item.

受

Handwritten Chinese characters in cursive script, likely a list item.

桂志

Handwritten Chinese characters in cursive script, likely a list item.

在柳

Handwritten Chinese characters in cursive script, likely a list item.

志

秋の山海のつらさ

みね

秋の山海つらさ

玄素

秋の山海つらさ

池水

秋の山海つらさ

其堂

秋の山海つらさ

戸元

秋の山海つらさ

布川

秋の山海つらさ

双和

秋の山海つらさ

文可

秋の山海つらさ

花江

秋の山海つらさ

増二

秋の山海つらさ

二水

秋の山海つらさ

大緩

秋の山海つらさ

御正

秋の山海つらさ

糸季

秋の山海つらさ

在元

秋の山海つらさ

羽州

秋の山海つらさ

在元

たのこひのこゝろをいふ

針司

かたがはのこゝろをいふ

南松

かたがはのこゝろをいふ

花見

かたがはのこゝろをいふ

耕る

かたがはのこゝろをいふ

牛心

かたがはのこゝろをいふ

かき

かたがはのこゝろをいふ

文行

かたがはのこゝろをいふ

寛二

かたがはのこゝろをいふ

寛二

かたがはのこゝろをいふ

寛二

かたがはのこゝろをいふ

寛二

かたがはのこゝろをいふ

寛二

かたがはのこゝろをいふ

寛二

かたがはのこゝろをいふ

寛二

かたがはのこゝろをいふ

寛二

かたがはのこゝろをいふ

寛二

可の月 花もかほるの夢いん 京 月居

可の夢いん 花もかほるの夢いん 一 花能 音 眠之

花もかほるの夢いん 一 花能 音 眠之

一 花能 音 眠之 大坂 科六

一 花能 音 眠之

花もかほるの夢いん 一 花能 音 眠之 二人 希云

花もかほるの夢いん 一 花能 音 眠之 羽 美杜草

花もかほるの夢いん 一 花能 音 眠之 杜原

花もかほるの夢いん 一 花能 音 眠之 菅原

花もかほるの夢いん 一 花能 音 眠之 江戸 多々

花もかほるの夢いん 一 花能 音 眠之 加美掃

花もかほるの夢いん 一 花能 音 眠之 二 芳

花もかほるの夢いん 一 花能 音 眠之

花もかほるの夢いん 一 花能 音 眠之 祖系

花もかほるの夢いん 一 花能 音 眠之 吐吟

新雪ののちのれんくの移るえらんき 如美 津の坊

晴の月けともあきこくは 大坂 魯徳

山嶽ののそかしくふ秋の風 石堂

鳴よしの海の勢あき 京 土郎

かきこもるゆ葉 越 幽喃

あらしのそゆ折 相 雪江

一浦の暮の穂 美 芙蓉

又遠海 雷 雷二

麻のたし 白 白心菊

大津 共 共洋

六月 丘 丘子

磯山 美 美夕

言飲 宇 宇席

奴 世 世依

三月 岐 岐系

笠 時 時系

心 漢 漢魯



角廿七和古川尾の

其風

可

鳥

如

武
双鳥

の

の

鳥

世

